

# 八千代地域福祉会議（八千代町お太助協力隊）との対話集会

場 所：八千代人権福祉センター  
開催日：2025年7月2日  
参加者：28名



<テーマ>  
地域のことは地域でやろうやー

<主な内容>

(1) 八千代町お太助協力隊として困りごとのお手伝いを目的として活動しています。広島市白木町三田地区では、広島市が取り組んでいる介護予防日常生活支援総合事業の住民主体型生活支援訪問サービスを展開し、地域の高齢者の困ったことを支援する取組をされており、市から活動助成金が交付されています。できたら安芸高田市でも考えていただけたらと思います。

## 【市長コメント】

市でも広島市のような補助制度を創設しようと検討しているところです。制度設計するためには、八千代地域福祉会議の皆さんの貴重なご意見をベースに組み上げていきたいと思っています。

自分たちのことは自分たちですというのが基本で、八千代地区については、本来やるべき基本に戻って、今やっておられます。お太助協力隊のように自走してもらうものに行政がサポートさせてもらう。これが一番スムーズに行くのではないかなという思いもしております。身近なサービスは気心の知れた顔なじみの皆さんが助け合うというのが一番スムーズで、利用者も受け入れやすいと思います。しっかりとうまく行政と連携しながら、市民の皆さんのパワーをお借りしたいと思います。

(2) ごみ出し支援を行っていますが、利用者のもとに訪問するたびに、利用者からありがとうと言ってもらえます。喜んでいただけることが糧になって次もやろうという気持ちになります。協力隊の活動によって、協力隊同士の繋がり、利用者さんとの繋がり、そして専門機関との繋がりもできてきました。地域のことは地域でみんなで取り組みをして、支え合っている地域にしたいという思いを持たれる方が協力隊に参加していただいています。

## 【市長コメント】

お太助協力隊という立場におられる方もまたそれが、生きがいになっておられる部分もあるのではないかなと勝手ながら思わせてもらってます。やっぱり家から出てもらうというのが一番元気である秘訣だと思います。こういった活動の中で、一人でも多く、生涯現役という思いを持っていただきたいと思います。

(3) 安芸高田市が取り組まれている介護予防はどのようなものがあるのでしょうか。はつらつ体操というのは介護予防の取り組みの一つですか。

【福祉保健部長コメント】

元気教室、はつらつ教室、それから例えば保健師や運動療法士とかを招いて講義をしてもらうとか体操教室をしてもらうとかの健康とどけ隊というものがあります。皆さんの状態に応じて、いろんなメニューを用意しておりますので、健康・こども未来課へ申し込んでいただければと思います。地域で体操やりたいけど誰か講師の人に来てほしいとか、栄養教室やりたいから誰か来てほしいとか、そういったものも請負っておりますので、ぜひ利用してみてください。

(4) 資料に記載してある活動から見えてきた地域の課題の中の移動についてですが、お太助ワゴンでは時間的に使用し辛いということで、図書館や美容院に送ってほしいという希望がありますが、移動はお太助ワゴンがあるから駄目という意見もあります。これについて、問題があるか確認をしたいです。

【社会福祉課長コメント】

移動については、旅客運送の法に触れない中で、あくまで無償でボランティアとしてされる活動においては問題ありません。お太助ワゴンはお太助ワゴンの役割があり、そちらを使われる方もいらっしゃると思いますので、お太助ワゴンの乗客が減るのではとご心配される必要はないと思います。

事故があった時は、運転手の保険で対応することになると思われませんが、乗せていただく方、乗せてあげる方の関係性に信頼があるなら問題はないと認識しております。

(5) 事故のことがあるので、自分の車で送迎をするのに抵抗がある隊員もいます。行政か社協の公用車を使わせていただくことは可能でしょうか。

【市長コメント】

公用車の案は難しいと思いますが、検討する価値はあるかなと思いますので、担当課と協議してみたいと思います。

(6) 市の生活支援体制整備事業の進み具合を聞かせてください。

【社会福祉課長コメント】

生活支援員制度は地域の中でお互いを気にかけて、地域のご近所同士を気にかけて見守りをする中で、地域が繋がっていくことを目指しております。「地域のことは地域でやろうや」まさにお太助協力隊のスローガンですね、この精神を引き継いで土台にし、生活支援員制度から生活支援体制整備事業へ移行することを考えていて、現在、社会福祉協議会と協議をしております。社会福祉協議会のほうで、6町に地域福祉会議を設けて、さらに地域福祉会議の中からこのようなお太助協力隊という一つの支援が含まれて、こういった取り組みをどんどんやっていこうというのが生活支援体制整備事業です。早ければ来年度ぐらいからしっかり取り組んでいけるように、現在準備を行っており、本日いただいたご意見もその中に取り込んで参考にしていきたいと思っております。

八千代地域福祉会議、そこから発生したお太助協力隊というのは、この生活支援体制整備事業のモデル的要素をたくさん含んでいらっしゃいますので、ここを一つのモデルとさせていただいて、制度設計、制度構築をしていきたいと考えて準備をしております。

### 【市長コメント】

皆さんの活動というのはしっかりと展開してもらいたいと思いますし、八千代だけでなく、あと5町ありますので、そこにも展開をしたいと思っております。

各町で福祉サービスは特徴があります。それぞれニーズがあるので、その辺を画一的にやるというのも一つですけど、そこにある潜在的な力を引っ張り出すようにもしていきたい。

先ほど熱い思いを聞かせていただき、今日は部長と課長も聞いておりますので、持ち帰ってしっかりと話をしていきたいと思います。